

年 組 名前:

問1

甲府市の民芸工房では、縁起物の何を作る作業がピークを迎えていますか。

.....

問2

齊藤忠雄さんは、作成する作業が昨年と変わり、プレッシャーがあるそうです。その理由を教えてください。

.....

.....

問3

2024年は辰年です。次の十二支の順番で、空いている干支を①から⑥の中から選んでください。

子(ね) → □ → 寅(とら) → □ → 辰(たつ) → □ →

午(うま) → □ → □ → 酉(とり) → □ → 亥(いのしし)

- ①戌(いぬ) ②丑(うし) ③未(ひつじ) ④卯(うさぎ) ⑤申(さる) ⑥巳(み)



ピークを迎えている土鈴作り 甲府市池田2丁目



土鈴は12月中旬までに、大小2種類合わせて約400個を完成させる予定。県内では土産物店や雑貨店などで販売される。忠雄さんは「昇竜にあやかり、皆さんの運氣上昇や立身出世の願いを込めたい」と話している。 <杉原みずき>

「辰」土鈴運氣上昇願う制作ピーク 甲府市池田2丁目の「民芸工房がくなん」で、来年のえと「辰」をかたどった縁起物の土鈴作りがピークを迎えている。 2代目齊藤岳南さん(80)が高齢のため体力面で不安を抱えるようになり、昨年の土鈴作りを最後に一線を退いた。今年には次男の忠雄さん(47)と家族が粘土を材料にした素焼きや彩色、絵付けをしている。 忠雄さんはこれまで、岳南さんと一緒に作業し、彩色の一部などを担当していた。彩色から仕上げまでを一人で担うことになり、「プレッシャーもあるが、父が仕上げていた物にできるだけ近づけられるようにしたい」と1個ずつ丁寧に向き合っている。岳南さんからは「まあまあいいんじゃない」と声を掛けられたという。

(2023年12月2日付 山梨日日新聞16面)